

当社研究開発センターにおける「JOMO自然観察教室」の実施について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、CSR活動の一環として、去る2月20日、埼玉県戸田市にある当社の研究開発センターにおいて、地元の戸田市立新曽小学校(所在地:埼玉県戸田市新曽南二丁目、校長:西田康子、以下「新曽小」)4年生の児童を対象とした「JOMO自然観察教室」を実施いたしました。
2. 「JOMO自然観察教室」は、小学4年生の理科の授業に身近な樹木の観察を行う「季節と生き物」というテーマがあるため、当センター構内(約5万m²)の自然(80種類 1,360本の樹木)を同授業に役立てていただくことを目的として2007年度から年4回程度の頻度で行っているものです。今回は2008年度の第4回目となります。
3. 当日は、児童が1年間観察することを決めた樹木の様子を観察・スケッチし、年間を通じた観察でわかった四季による樹木の変化などをグループ毎に発表しました。また、構内に訪れる野鳥(メジロ、ハクセキレイ、ツグミ等)の観察も行い、自然に触れる機会を得ました。
4. 「JOMO自然観察教室」の概要は次のとおりです。
 - (1)開催日時:2009年2月20日(金)9:55~12:10
 - (2)場所:研究開発センター(埼玉県戸田市新曽南三丁目)
 - (3)参加児童:115名
 - (4)内容:樹木の観察・スケッチ、グループ発表、野鳥観察

以上

● 【参考資料】「JOMO自然観察教室」の様子

